

卒業研究		教 授 白井 雅人	
科目カテゴリ	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300401

1. テーマ

ICT（情報通信技術）への理解と社会に通用する創造的発信力の獲得

2. ゼミのねらい・概要

情報技術を含む広義のメディアおよびその周辺領域に関する個別具体的研究、もしくはプログラミング等によるコンテンツの制作実践のいずれかを各自が選択して自主的に進め、最終的に卒業研究にふさわしい成果物としてまとめる。各自の研究の調査研究結果・進捗状況などの報告を随時行い、計画段階から完成までプレゼンテーションとディスカッションを繰り返しながらその内容をブラッシュアップしてゆく。自ら選択したテーマについて研究し、1年をかけてまとめあげることを通じて、大学における4年間の学業の集大成としての成果をかたちとして残すことを目標とする。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は、概ね以下のとおりとするが、ゼミメンバーの問題意識や関心・興味等を見極めながら適宜見直しを図る。

〈前期〉	〈後期〉
1. ガイダンス	1. 前期課題報告 第一グループ
2. 卒業研究とは	2. 前期課題報告 第二グループ
3. 研究テーマの選択	3. 後期個別指導 第一グループ
4. 研究テーマの決定	4. 後期個別指導 第二グループ
5. 研究テーマ発表	5. 卒業研究のまとめ方
6. 資料収集の方法	6. 卒業研究の体裁
7. 資料の分析	7. 後期中間発表 第一グループ
8. 前期中間発表 第一グループ	8. 後期中間発表 第二グループ
9. 前期中間発表 第二グループ	9. 後期個別指導 第一グループ
10. 前期個別指導 第一グループ	10. 後期個別指導 第二グループ
11. 前期個別指導 第二グループ	11. 書式の確認
12. 論文における文章作法	12. 最終チェック
13. 参照資料の文章化の方法	13. レジューメ作成
14. 脚注と文献の書き方	14. レジューメチェック
15. 前期課題最終チェック	15. 最終講評

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各自の設定したテーマについて、参考文献や資料等を収集し、それらを読んで十分に研究する。また授業における発表（プレゼンテーション）においてその概要を発表できるよう、発表資料等を準備する。最終的には、卒業研究（論文）としてこれを執筆してまとめあげ、期日までにこれを完成させる。これらは基本的にすべて授業外の時間に行うものであり、週に3時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

発表（プレゼンテーション）については、その都度個別に講評を行う。また個別指導の際にも研究の内容や進行について個別にコメントを行う。最終的な卒業論文についても、不足点などを含む講評を面接形式で個別に行う。

6. ゼミにおける学修の到達目標

自らの関心に応じて研究テーマを設定し、その概要・内容を発表できるようになる。また研究の手法を身につけることによって進行した研究内容をレベルに応じて発表できるようになる。さらに最終的に卒業研究として、4年間の集大

成としてふさわしい研究成果を自らの研究としてまとめあげ、完成させる。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミに対する取組み姿勢（15%）、授業内課題（15%）および提出物（卒業論文）（70%）

8. テキスト・参考文献

教科書として、酒井 聡樹（2017）『これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版』共立出版，を使用する。
その他必要な資料を配布するほか、参考文献については、その都度指示する。

9. 受講上の留意事項

出席のみならず、ゼミへの積極的な関与が求められる。